



株式会社クラウドイオ
Claudio.inc

統合報告書 2023

Contents

- 01 パーパスとマテリアリティ
- 02 CEOメッセージ
- 03 事業概要
- 04 サステナビリティ戦略
 - 04 サステナビリティ戦略：環境
 - 05 サステナビリティ戦略：社会
 - 06 サステナビリティ戦略：ガバナンス
- 07 会社情報

01 パーパスとマテリアリティ

Purpose and Materiality

Our Purpose

私たちの存在意義

デジタルで社会の課題を解決し、
よりよい未来を創る

パーパス実現に向けたマテリアリティ



デジタルで イノベーションを

デジタルテクノロジーを
活用してお客様とともに
イノベーションを
生み出していきます



持続可能な経営のサポート

ESG経営のための
様々なご支援を通じて
お客様の持続可能な経営を
サポートいたします



協働と共創

社会課題の解決に向けて、
お客様、地域、行政など
様々なステークホルダーと
協働で新たな価値創造を
行ってまいります



ダイバーシティと インクルージョン

互いの多様性を尊重しあい、
様々な社会課題に対して、
社員が一致団結して
取組みを行ってまいります



人材の育成

人を大切にし、
デジタル社会の未来を担って
いける人材育成のために
若い人材が積極的にチャレン
ジできる環境作りをします

パーパスとマテリアリティを受け、SDGsのゴールを下記のように設定しました。

4 質の高い教育をみんなに



- 学びの機会
- 常に学び続けられること
- 未来のデジタル社会を担う人材の育成
 - ・ プロスポーツ選手のデュアルキャリア支援
 - ・ 小中高生に向けたデジタル教育

5 ジェンダー平等を実現しよう



- だれもが活躍できる職場であること
- お互いを尊重し、多様な価値観を認め合える職場作り

8 働きがいも経済成長も



- 自由でアイデアを生み出せる働き方
- 操業開始の時からテレワークを推進
- 個人のライフスタイルにあった自由な働き方を推進
- デジタル技術を活用したコミュニケーション

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



- デジタルを活用し、技術革新の基盤を構築すること
- デジタル技術による、ノウハウの蓄積と伝授、効率化、意志決定のサポート、サプライチェーンにおける距離と時間の短縮化などを実現し、技術革新の基盤を構築

12 つくる責任 つかう責任



- 循環経済実現の担い手になること
- デジタルを活用した資源循環プラットフォームの構築への貢献

13 気候変動に具体的な対策を



- カーボンニュートラル達成への取組み
- お客様とともにカーボンニュートラル達成を目指す
- クラウドィオとしてのTCFDへのコミット

02 CEOメッセージ

CEO Message



代表取締役会長/CEO

石川 正明

MASAAKI ISHIKAWA

- 1986 **日本IBM入社**
プロフェッショナルサービス部門に
システムエンジニアとして入社
チームリーダー、プロジェクトマネジャーとして
大規模SIプロジェクトに従事
- 2002 **日本オラクル入社**
戦略企画室室長、アプリケーション製品本部長、
アプリケーションSC本部長、
アプリケーションコンサルティング統括本部長として
アプリケーション事業全般の戦略企画から実施に従事
- 2011 **アクセンチュア入社**
テクノロジーコンサルティング本部の
マネージングディレクターとして、
主にオラクルプラクティスに従事
- 2019
その後シグママクスを経て、
株式会社クラウドリオを共同創業

はじめに



企業を取り巻く経営環境はインフレと景気後退リスクをはらむ経済状況に加え、エネルギーや食糧などの価格高騰、半導体などのサプライチェーンの問題、ESGへの取り組みに対する社会からの要請、不足する人材の獲得や働き方、そしてウクライナ問題に代表される地政学リスクなど、幅広い領域で深刻さを増し、ますます不透明なものになってきています。

そして、その変化は非連続かつ急激なものであり、企業の対応力が求められるようになってきています。

また、デジタル化の波は確実に広がってきており、最近ではChatGPTをはじめとする生成AI、仮想空間でのメタバースなどの話題も一般のニュースでも当たり前のように取り扱われるようになってきました。これらの最先端の技術はものすごいスピードで進化しており、あっとい

う間に実用化されてきています。とりわけ、中堅・中小企業はその影響を大きく受けており、先行きの不透明な状況になっていると考えます。これを将来の不安と捉えるか、ビジネスチャンスとして捉えるかによって、取組みに大きく差が出てくると考えております。

このような中、今までのやり方や常識に捉われないことなく、新しい視点、柔軟な発想、過去にないアプローチをもって課題に取り組むことが求められると考えております。

デジタルで

だれもが活躍できる社会を目指して

デジタル技術の可能性・・・デジタル技術は新しいライフスタイルを生み出すだけでなく、サプライチェーンにおける距離や時間の短縮化、ノウハウの蓄積と伝授、人手不足の解消など様々な分野でゲームチェンジャーとなる可能性を秘めており、積極的に取り組むことで、どんな企業でも新たなビジネスチャンスを生み出すことが期待できます。これらはスピード勝負です。アイデアをいち早く具現化し、市場やお客様の反応を確かめて、次の施策を打ち出していくことが規模の大小に関係なく、デジタル時代を勝ち残っていける条件だと考えています。

デジタルトランスフォーメーションによる、新たなビジネスモデル、新しい働き方・・・

例えば製品とデジタル技術を組み合わせることにより、新たなサービスを生み出すなど、



従来のビジネスとデジタル技術の融合は大きな可能性を持っています。それらを活用することによって、例えば、地方に住みながら仕事をしたり、子育てや介護と仕事を両立するなどライフスタイルも大きく変わってきています。私たちクラウディオでは、自らデジタルを活用した新しい働き方を模索し、そこで得られたノウハウをお客様に提案していきます。

地球環境のために何ができるのか

これからの企業に求められることとして、気候変動対策に代表される地球環境問題があります。ほかにも生物多様性や海洋プラスチックごみ問題などが社会問題化しており、企業にはそれらの課題に対して積極的に取り組み、企業収益の向上と両立させることが優良企業の証となり、多くのビジネスチャンスや投資を呼び込むことができるようになると考えています。

私たちは2022年4月より、地球環境をはじめとする様々な社会課題をお客様と一緒に解決していくためにサステナブルサプライチェーンプラットフォームというコンセプトを提唱し、その展開を担う組織としてESG事業を立ち上げました。

人を大切に…次の世代につなぐ

クラウドイオは、デジタル技術を最大限に活用し、お客様の課題を一緒になって解決していくために、コンサルタント、開発エンジニア、データサイエンティスト、デザイナーなど様々なスキルを持ったスペシャリストを積極的に採用しています。これらの多様なバックグラウンドを持った人材がスキルを結集してお客様の課題をともに解決していくために活動しています。2019年6月の操業開始から社員数は順調に増加しており、2024年3月時点で60名を超えています。若い人材を積極的に採用し、登用することで次の世代を担う人材を作っていくことがわたしたちの使命だと考えています。クラウドイオでは社員一人一人が自らを成長させ、豊かなキャリアを形成するためにチャレンジできる環境を整えています。



そして、もう一つの取組みとして、未来のデジタル社会を担う人材を育てていくために新たに2つの取組みを始めました。

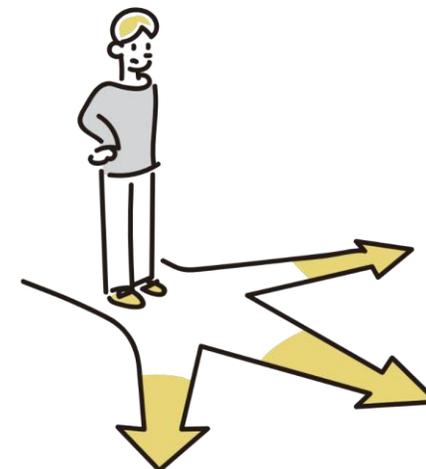
- ✓ プロスポーツ選手のデュアルキャリアという取組み
- ✓ 小中高生のデジタル教育への支援を通じた将来世代の人材育成の取組み

プロスポーツ選手は現役選手として活躍できる期間は一般のビジネスマンに比較して短く、引

退後はほとんどの選手が第二の人生として別のキャリアに進んでいくこととなります。

そこで、私たちは現役で活躍できる間にデジタル技術のスキルを身につけ、セカンドキャリア形成するための支援を行うのがデュアルキャリアという取組みです。

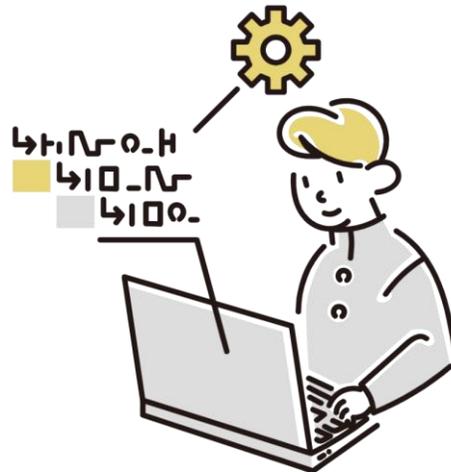
現在、JFL(日本フットボールリーグ)に所属しているプリオベッカ浦安とデュアルキャリア支援に関する取組みを協働で進めています。



例えば、現役のうちに学んだデジタル技術を活用して、サッカーという競技を熟知した人材がデジタルとの融合の担い手として引退後のキャリアを進んでいくことなどでスポーツとデジタルの新たな可能性を模索していきたいと考えております。



また、次の世代がデジタルを使いこなし、新たな時代を切り開く人材として活躍できるようにするための支援として、静岡ジュニアプログラミング講座への支援や千葉県の小中学校へのプログラミング講座への寄付などを実施しております。



すべてはお客様とともに

わたしたちクラウドイオは「デジタルで社会の課題を解決し、よりよい未来を創る」を存在意義（Purpose）としています。そのために人材、デジタル基盤、ビジネス基盤を提供するDXプラットフォームとしてお客様に寄り添い、ともに歩み、デジタルトランスフォーメーションを通して日本の中堅・中小企業を元気にしていくことを目指しています。

03

事業概要

Business Summary

事業を通じて、より良い未来創りに繋げてまいります。

自社による人材の育成・活用やペーパーレス等の取組と共に、

デジタルの力でお客様の脱炭素への取組やCSR調達の徹底、業務の効率化、働き方改革、ガバナンス強化等をお手伝いします。

お客様が抱える社会的課題の解決に継続的に取り組む事で自社の企業価値向上を図り、

ひいては環境、社会、ガバナンスの視点から持続可能なより良い未来に変えてまいります。



企業の課題を解決し、将来ビジョンを実現するようなITシステムをご提案します。

データ一元管理を実現して経営力を強化

経験豊富なITコンサルタントが企業の課題を明確化し、解決策となるようなITシステムをご提案しています。

ビジネスの多様化と変化に俊敏に応えるERPパッケージを選定し、低コスト・短納期で統合型ビジネス管理システム（ERP）を導入するお手伝いをします。

人・物・金・情報をERPで一元管理する事で、業務の効率化、迅速且つ精度の高い経営判断と、経営資源配分の最適化、内部統制強化等が可能となり、企業の経営力向上に貢献します。

グループ経営/グローバル展開をサポート

選定するERPパッケージは多通貨・多言語対応で導入実績が豊富にあり、更に価格もリーズナブルな為、中堅・中小企業や大手企業の海外拠点/グループ会社への導入に適しています。

柔軟な展開と災害等への耐性強化

クラウド型ERPをご提案することにより、導入時のイニシャル費用とメンテナンス数を抑えて頂きながら、企業のBCP対策も強化することができます。

業務プロセスのDX化も対応

ERPへの合わせ込みが難しい業務プロセスに就いては事務処理ルールの可視化・自動化をご提案し、業務の属人化/ブラックボックス化を回避しつつ大幅な効率化を実現します。

その他、別途作成するアプリ/サービスや生成AI機能をERPと併せてご提案し、企業の幅広いご要望にお応えしています。

企業のESG経営をデジタルの力でサポートし、お客様の企業価値向上の取り組みをご支援します。

デジタルサービスの提供

CO2排出量やCFP可視化、気候変動による企業の事業インパクト評価をデジタルの力で仕組み化します。サービス導入から運用におけるサポートまで、担当コンサルタントが伴走支援を行います。

脱炭素経営コンサルティングの提供

自社太陽光発電設備設置、PPA導入、クレジット購入によるオフセット等、脱炭素経営にかかる実行計画策定や事業者との連携による実行支援を行います。

ESGコンサルティングの提供

TCFD/TNFD/CSRD/ISSB等の各種開示に向けた事業戦略や移行計画の策定、CDP開示、SBTi認定、EcoVadis認証など、ESG経営をサポートするためのコンサルティングを提供します。

04 サステナビリティ戦略：環境

Sustainability Strategy : Environment

環境への対応方針

当社は、環境に配慮した事業運営を行う社会的責任の大きさを認識し、さまざまな技術革新と経営効率の向上により、環境保全と企業の持続的成長が両立する社会の実現に貢献してまいります。

TCFDコミット宣言

気候変動対策を重要な経営課題の一つと位置づけ、
取り組みを行ってまいります。

2022年12月には、気候関連財務情報開示タスクフォース
(TCFD) に賛同しました。

同提言に基づいて、気候変動に関連する事業リスクや
ビジネス機会について情報開示を拡充してまいります。



ガバナンス

サステナビリティに関する重要事項を適切に
マネジメントするため、委員会の設置を進めて
いきます。そして、目標とする指標の決定、推
進体制の整備、活動計画の策定及び推進状況の
モニタリングを行ってまいります。これらの結
果は、取締役会や経営会議等へ報告し適切に管
理・監督を行ってまいります。

リスク管理

当社では、委員会及び環境マネジメントシス
テムにおいてリスク管理を行ってまいります。
定期的に委員会の指示により関連部門にて気候
関連データの集計を行い、委員メンバーにて進
捗状況の確認・分析・課題の抽出等のモニタリ
ングを実施することで、継続的なリスクの把握
と管理を行ってまいります。

戦略

将来の気候変動が当社事業へもたらす影響について、国際エネルギー機関（IEA）や気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が公表する1.5℃シナリオに則り、シナリオ分析の手法を用いて2030年時点における外部環境の変化を予測し、分析を実施しました。

シナリオ分析の内容

1.5℃シナリオにおいては脱炭素に向けた規制や政策の強化により顧客の製品・サービスに対する志向が変化し、未対応の場合は顧客流出やレピュテーションリスク上昇が発生するなど、移行リスクが高まると推測しました。

一方、気候変動による災害の激甚化や増加は一定程度に抑制されるなど、物理リスクは相対的に低いと推定しました。

項目			概要	財務への影響度	影響時期
リスク	移行リスク	新たな規制	炭素税、排出権取引の導入によるコスト増加 再生可能エネルギー価格の上昇によるコスト増加 電力消費量を削減するための設備投資の増加	小	中・長期
		評判	気候変動をはじめとする環境への取り組みの遅れによる ステークホルダーからの企業評価や信頼性の低下	中	中・長期
	物理的リスク	自然災害	主要拠点において、災害対策に関する設備投資コストの発生 平均気温の上昇により、空調にかかる電力使用量が増加	小	長期
機会	製品・サービスの需要変化		ESG経営への関心・取組み増加によるESG事業の ビジネス拡大の機会	中	中期
			顧客の業務のデジタル化、ペーパーレス化の加速に伴う 自社サービスの需要拡大の機会	小	中・長期
			顧客の労働時間短縮に伴う省エネルギー化のためのサービスに おけるビジネス拡大の機会	小	中・長期
	市場	カーボンネガティブの達成により顧客から選択される機会が 増加、それに伴う売り上げ拡大の機会	中	中・長期	

リスクへの対応

当社は気候変動のリスク対応において、温室効果ガス排出量の削減が重要であるとの認識のもと、自社排出量のネットゼロのみならず、自社サービスの導入を通じてお客様の脱炭素化を支援します。

お客様とのエンゲージメントを通じて共に脱炭素化に向けて取り組むことで双方のレピュテーションを向上させ環境と経済の好循環に貢献することを目指します。

指標と目標

当社は、世界全体の気温上昇1.5℃未満目標達成のため、長期的な温室効果ガス排出量の削減目標を設定してまいります。

温室効果ガス排出源としてオフィスの利用、通勤・出張など社員の移動、リモートワークに伴う自宅からの排出を定量的にモニタリングを実施します（一部推計数値含む）。

温室効果ガス排出量（Scope2,3）の排出量削減目標について2030年までにカーボンネガティブの実現を目指します。

05

サステナビリティ戦略：社会

Sustainability Strategy : Society

人的資本

クラウドイオでは、事業を成長させるものは「人」であり、価値創造の起点は一人一人の社員であると考えています。

多様な個々が集まり、ともに成長することで事業が成長する、そんな世界観を実現したいと考えております。

創業から5年が経過し、今後、従業員の成長と意欲を最大化することを改めて重要テーマとし、

人的資本の強化、特にダイバーシティ、従業員エンゲージメントの向上、最新技術を学べる人材育成と環境作りに重点的に取り組んでいく予定です。

個々人の成長により事業が成長し、結果として社会へ価値を還元することが出来ると考えています。

人的資本データ (1/4)



※社内エンゲージメント調査に関しては、今後取り組んでいく課題としており、現時点ではデータはございません

	項目	2022/03月 (2021年度)	2023/03(2022年度)	2024/03(2023年度)	
基本データ	従業員数	従業員数	71名	68名	61名
		・女性比率	21.1%	20.6%	16.4%
		・年代別			
		20代	26.8%	19.1%	24.6%
30代		29.6%	30.9%	29.5%	
40代		28.2%	20.6%	23.0%	
50代		15.5%	23.5%	14.8%	
60代	0.0%	5.9%	8.2%		
従業員平均年齢		38.0歳	41.1歳	39.9歳	
	男性	38.7歳	43.2歳	39.9歳	
	女性	35.5歳	38.8歳	39.8歳	
平均勤続年数		1.56年	1.51年	2.10年	
ダイバーシティ	採用した労働者に占める女性労働者の割合	17.6%	9.1%	12.5%	
	経営層・管理職に占める女性労働者の割合	経営層 0 / 管理職データ無	経営層 0 / 管理職33%	経営層 0 / 管理職25%	
	男女別育児休業取得率	男性	66%	0%	100%
		女性	100%	100%	100%
外国籍スタッフ割合		1.3%	3.5%	4.8%	
流動性	離職率	35.9%	27.7%	26.3%	
	採用人数	17名	33名	16名	

分野	項目	2023年度実績と総評
育成 (リーダーシップ・育成・スキルと経験)	従業員ひとりあたりの平均学習時間	平均年間 6.18h/人
	研修プログラムの種類	入社時研修、ビジネススキル研修、テクノロジースキル研修、製品研修、フォローアップ研修 社内勉強会：デジタル勉強会、技術書を中心とした読書会
	人材定着のための取り組み	対話の場：取締役によるタウンミーティング、1on1制度 成長支援：キャリアコンサルタントによる面談、資格取得支援制度
健康・安全 (精神的健康・身体的健康・安全)	労災発生件数	1件/2023年度
	健康・安全に関する取り組み	年1回の健康診断、衛生委員会の月1回実施、週1衛生管理者による職場巡視、産業医による職場巡視、AED設置、災害時
	平均残業時間数	30.17h (2022年度)
	有給休暇取得率	57.99% (2022年度)
	ストレスチェック結果と取り組み	高ストレス者割合 9.8% 対応 高ストレス者むけに産業医面談を打診・実施

分野	項目	2023年度実績と総評
労働慣行 (企業と労働者の間で公正な 関係が築けているかを測る指 標)	フレックスタイム制、在宅勤務等の柔軟な働き方に 資する制度の利用実績	リモートオフィス利用者 48.1% 在宅勤務可能者 98%
	賃金の公正性	評価制度の見直しにより今後整備予定
	福利厚生	休暇(慶弔、年末年始、プロジェクト、アニバーサリー)、保養所、スポーツジムなど、 災害対策(ヘルメット・備蓄水/食料品)
コンプライアンス・倫理	業務停止件数や苦情の件数	0件
	ハラスメント等に関する各種相談窓口への相談状況	0件
	コンプライアンスに関する研修を受けた従業員の割 合	これから実施予定

人権への取り組み

株式会社クラウドイオでは、すべてのステークホルダーに対し、国連グローバル・コンパクトの定める企業活動、採用活動に関わる4分野「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」に関する10原則に賛同しております。差別やハラスメントを排除し、他者を尊重する、働きやすい環境の確保に努めております。

また、弊社ではCSR調達分析ツール“spirise”を開発し、その実現に向けての支援をおこなっております。

事業成長し続ける人と組織づくり

創業から5年間、事業を立ち上げていくことを主とし人への投資は実践がメインになっております。そのため、これまではダイバーシティや育成には積極的に取り組んでいるとは言い難い状況でした。

しかし、私たちは事業を成長させるものは「人」であり、価値創造の起点は一人一人の社員であると考え、多様な個々が集まり、ともに成長することで事業が成長と考えている考えには変わりありません。今後更にダイバーシティや育成への投資、個を生かす組織づくり、および社会的な信頼を得てパーパスを実現すべく、社会からみて市場価値の高い人材の成長支援を行ってまいります。

2030年までの目標

ダイバーシティ

女性社員の割合30%以上

育成

年間学習時間1人当たり50h以上

エンゲージメント調査

実施開始

コンプライアンスの遵守

年1回以上の研修を受講率100%

ワークライフバランス

柔軟に働くことのできる環境・制度を整備

上記により、1人1人が成長し続け、安心して成果をだせる組織づくりを目指します。

06

サステナビリティ戦略：ガバナンス

Sustainability Strategy : Governance

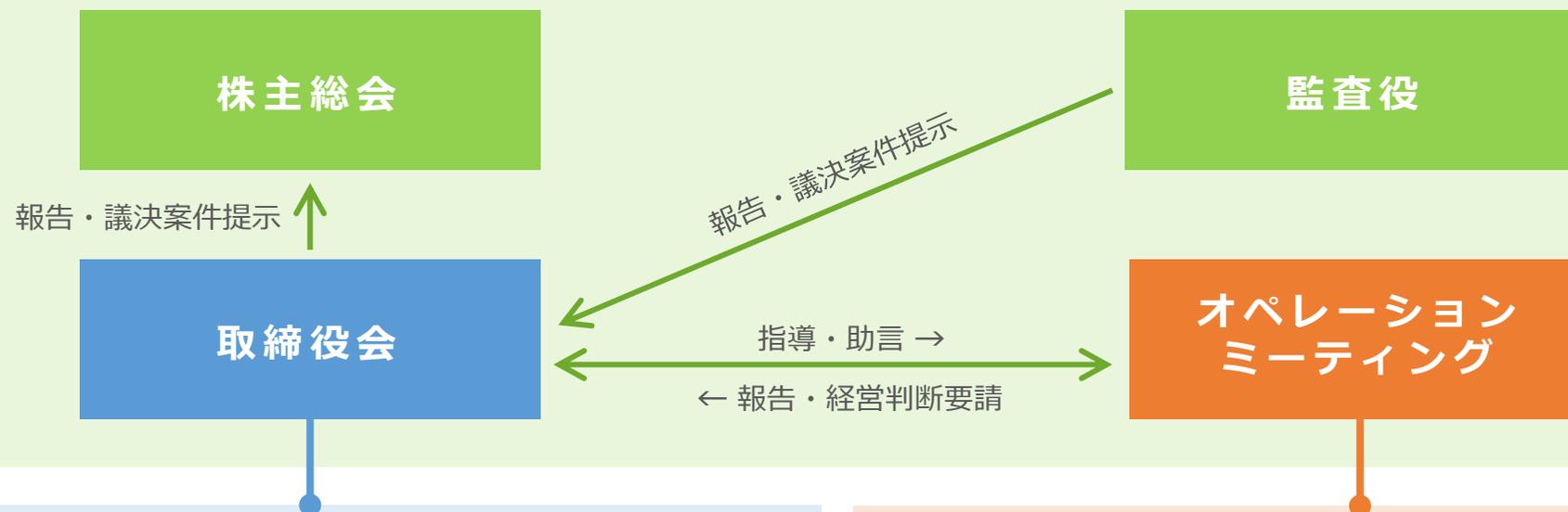
コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方

当社では、お客様、お取引先様、従業員等、すべてのステークホルダーに対して、

健全かつ公正で透明性の高い経営を行うことを重要な経営課題であると位置付けております。

当社が持続的な成長を達成するため、経営環境や市場動向の変化に対して即座に判断し対応するための体制で取組みを進めています。

コーポレートガバナンス体制



取締役会

定期開催・月2回

代表含め役員が集まり、オペレーションミーティングでの現場および経営課題への対応、株主総会での議決案件の調整等を実施しています。

オペレーションミーティング

定期開催・週1回

各事業部からリーダーが集まり、会社運営における現場での取組みの確認、状況報告、課題の検討を行い、役員会への報告内容や経営判断の要請の取りまとめを実施しています。



代表取締役会長/CEO

石川 正明

MASAAKI ISHIKAWA

- 1986 日本IBM入社**
プロフェッショナルサービス部門にシステムエンジニアとして入社
チームリーダー、プロジェクトマネジャーとして
大規模SIプロジェクトに従事
- 2002 日本オラクル入社**
戦略企画室室長、アプリケーション製品本部長、
アプリケーションSC本部長、
アプリケーションコンサルティング統括本部長として
アプリケーション事業全般の戦略企画から戦略実施に従事
- 2011 アクセンチュア入社**
テクノロジーコンサルティング本部のマネージングディレクターとして、
主にオラクルプラクティスに従事
- 2019** その後シグマクシスを経て、株式会社**クラウドイオ**を共同創業



取締役/CSO

川久保 義彦

YOSHIHIKO KAWAKUBO

- 1996** メーカー系IT企業から**日本オラクル入社**
- 2016** その後プライスウォーターハウスクーパースを経て、**日本IBMに入社**

SCM領域のコンサルタントとして、主に自動車、ハイテク、
機械製造等の製造業を中心とした業界に対する
サプライチェーン改革プロジェクトに従事
- 2019 クラウドイオ創業時より参画**
次世代のサプライチェーンマネジメントとして、
サステナビリティの仕組みをオペレーションに組み込んだ
サステナブルサプライチェーンプラットフォームを提唱
- 2022 ESGソリューション事業を立上げ、現職**



取締役

鈴木 延往

NOBUYUKI SUZUKI

- 1986 日本IBM入社**
システムインテグレーション部門にてプロジェクト管理に従事
数社のプロジェクトを経て、営業部門に転属
お客様担当SEとして自動車部品メーカー各社に対する
システム化提案・プロジェクト支援に従事
- 1996** コンサルティング部門にてERP/生産管理コンサルタントとして
数十社の業務改革プロジェクトに従事
- 2003** IBM Business Consulting Servicesへの出向を経て、
日本IBMとの統合により帰任
- 2021** その後、国内SIerを経て、**クラウドイオ入社**



CTO

仁科 勇作

YUSAKU NISHINA

- 2008** 新卒で**日本IBMにインフラエンジニアとして入社**
金融系Webサービスの構築・運用に従事
- 2012 シグマクシス入社**
ITコンサルタントとして、
システム化構想策定、開発リード、プロジェクト管理に携わる
特にシステムインフラ、アプリケーションを含むシステム全体の
構成や処理方式、データモデル・フローを具体化する事を得意とする
- 2019 クラウドイオ創業に参画し、現職**

当社の行動規範 (1/2)



Career Ownership

自分ごとで考える

お客様のご要望を満たすサービスを提供することも、自身が成長することも、最後まで完遂する力無くしては達成できません。

最後まで完遂するため、人任せにせず、自分が責任をもって実行することで達成するという意識を強く持ち、考えて行動します。



Act

行動する

お客様やチームにとって最も大きな成果を得られる方法は何か、机上の空論では無く行動した者だけが見える世界がある。

意見の違いをぶつけ合い、時には相手の考えを受け入れ、その時判断された最善の施策に基づき行動することで、パフォーマンスの最大化を図ります。



Challenge

チャレンジし続ける

誰もが新しいことへの挑戦には不安が付きまといます。ただ、周りの自分より先を行っている人はかつてできないことをできることに変えてきた人たちです。

すぐに結果に繋がらなくても、失敗を恐れず、素直な気持ちでチャレンジし続けることで自らの成長を追求します。



Chance

機会によって自らを変化させる

ラッキーな人とは、多くの機会を生み出し、その中でパフォーマンスを最大化させた人でしょう。無駄な経験などありません。

そして、1つ1つの与えられ生み出した機会がどんなものであれ、成長ドライバーとして自らの良い方向へと変化させます。

当社の行動規範 (2/2)



Respect

リスペクト

全ての人は役割を果たすことで誰かの役に立つことができます。能力や人格など、様々な人が集まってこそチームは成り立ちます。

個々のメンバーを認め合い、その考えや行動をリスペクトすることで、最善の道を共に導き出します。



Integrity

高潔、誠実、そして真摯

ルールを守ることは最低限の行動です。より良い結果をもたらすため、私たちは正しい行いを考え続けます。法令、契約、その他規約やルールは絶対に守ります。また、明示的な規約がない場合でも、常に誠実かつ真摯に対応します。



Thankful

感謝

私たちは、チームで行動します。チームは社内メンバーだけでなく、お客様も含めて目的を同じくする人はみなチームです。

常にチームメンバーに感謝し、それを伝え、伝えられることで、個々を活かし最高のパフォーマンスを発揮する風土を創り出します。

07 会社情報

Company Information



クラウドイオのロゴに

込められた思い

企業ロゴClaudioの文字には、「人・自然・社会のつながり」を表現するため、丸みを帯びた字体に傾斜をつけることで「進歩」を表しました。また、文字にかかる雲のデザインには右端にドット絵を忍ばせ、「デジタル」を演出しています。

社名	株式会社クラウドイオ
設立日	2019年6月17日
所在地	東京本社 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン14F 東京オフィス 東京都中央区京橋2丁目5-15 京橋RKビル 11階 大阪支社 大阪府大阪市淀川区宮原1-1-1 新大阪阪急ビル3F 静岡オフィス 静岡県静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー1F
資本金	40百万円
役員一覧	代表取締役 会長 石川正明 取締役 川久保義彦 取締役 鈴木延往
事業内容	デジタルトランスフォーメーションのコンサルティング デジタルソリューションのサービス提供



株式会社クラウドイオ
Claudio.inc

End Of File